

認知症に関する活動計画（概要）

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区の地区別にメンバーを配置し、県内各市町や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防教室等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行う。また、「認知症の人と家族の会」との連携を図り、スタッフの派遣等を行っている。部員数21名。

県士会員に向けては、アップデート研修を開催し、認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目指す。

認知症地域支援事業

「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センター、県士会員へDVDを配布し、説明会を実施している。

次に、市町村からの依頼に応じて、認知症初期集中支援、認知症カフェ、予防事業等にスタッフを派遣している。今後も認知症に関する地域支援事業に対応するため、認知症アップデート研修を実施し、地域で活躍できる作業療法士を養成していく。



認知症アップデート研修

認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目的に、愛媛県作業療法士会では、県内の作業療法士、言語聴覚士、理学療法士からなる愛媛県リハビリテーション専門職協会と共催し、認知症アップデート研修を開催している。内容には認知症基礎研修（認知症サポーター養成講座）、認知症地域支援活動養成研修（えひめカンカン体操演習）を取り入れている。

認知症サポーターキャラバンメイト

県士会における認知症地域支援部門の活動の一環として、メンバーには認知症サポーターキャラバンメイト養成講座の受講を推進している。昨年度は感染症拡大の影響で受講に制限があり、1名がキャラバンメイトとなった。今後も作業療法士として専門的な知識を持ち、アウトプット出来ることは勿論のこと、行政と協働できる作業療法士の増員を目指す。

COVID-19の影響・対応など

新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、各地区の積極的な活動は控えている。県士会員に向けて、認知症に対する理解の推進を図るためのアップデート研修を昨年度より再開し、WEBでの開催を行った。今年度も令和4年10月8日にWEBでの開催を予定している。